

学校新聞 芥川

39期生進路状況

進路指導部長

今春卒業した39期生の進学先は、大学が68%（昨春55%）、短大が5%（昨春9%）、専門学校が23%（昨春25%）と、例年と大きな変化がなかった昨年に比べて、大学への進学率が高くなりました。また、学校幹旋による就職を選んだ生徒は3名、公務員試験に最終合格した生徒は1名、そして再受験（浪人）を選んだ生徒は9名となっています。

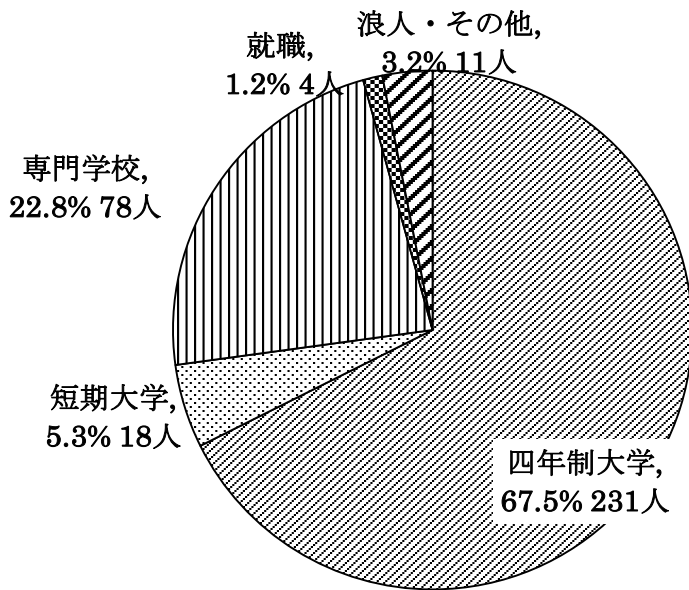
39期生の第3学年は4月・5月の臨時休校から始まり、文字通りコロナ禍に翻弄された一年でした。大学入試の変革とコロナ禍による社会情勢の変化の中で、関西の私立大学では軒並み志願者が大幅減となり、例年になく多数の追加合格を出したにもかかわらず、多くの学部学科で定員割れを起すこととなりました。その中で、一般選抜の最後まで諦めることなく受験勉強を続けた生徒たちが、しっかりと合格を手に入れることができたのです。

特に前年度から10以上合格数（延べ数）が伸びた大学は京都橘大学（14→48）と追手門学院大学（35→46）です。関西外国語大学（4→9）と京都外国語大学（3→9）でも合格が増えています。また、看護・医療系の大学合格延べ数が9→18、35と二年連続倍増しています。グローバル専門コースからは13名が外国語大学に進学した他、語学・国際・観光・英語教育など、特に英語力を生かした進学先（大学・短大・専門学校）を選んだ生徒が昨年より増加しています。

就職は今年も希望者全員が、地元の優良企業に合格することができました。3年生早々から毎週の就職講習に出席したり、公務員試験の準備を重ねたりして、自信と希望を持って社会に頼もしい一歩を踏み出しています。各種の専門学校を選んだ生徒、浪人して再度夢に向かって挑戦する道を選んだ生徒、それぞれが納得できる進路を選んでくれたことを信じて、今後の活躍を期待しています。

39期生は卒業前のアンケートで、自身の進路決定に至るプロセス（過程）に満足していると答えた生徒が8割を超えていました。毎年本校生徒の大半が、自分の進路選択の過程に大きな満足を感じて芥川高校を巣立っています。39期生もまた、自分自身の努力の成果に対する誇り

とともに、家族に支えられ、仲間とともに試行錯誤を重ねる中で選り取ったかけがえのない進路に対する自信と希望にあふれ、一人ひとりが自分の進路決定に満足して卒業を迎えてくれたことを本当にうれしくありがたく思います。彼らの一人ひとりが、これからも力強く歩み続けてくれることを祈念してやみません。



前期生徒会執行部が発足 特別活動指導部長

4月27日(火) 前期生徒会役員選挙が行われました。放送による立会演説会では、立候補者が生徒会活動への意欲や思いを訴えました。引き続き、各クラスで投票を行い、選挙管理委員による厳正な開票作業の結果、全員信任されました。生徒全員が生徒会の構成員です。みなで新執行部を盛り上げていってほしいと思います。

前期生徒会執行部

- 会長
- 副会長
- 副会長
- 書記
- 書記
- 会計
- 会計

対面式・新入生歓迎会

特別活動指導部長

4月9日(金) 体育館において2・3年生と新入生が対面式を行いました。生徒会代表から新入生へ歓迎の言葉、新入生による挨拶の後、1年各クラス代表に花束が贈られました。引き続き生徒会主催による新入生歓迎会を行いました。各部活動が作成した紹介動画を上映しました。盛りだくさんの内容で、新入生を大いに楽しませています。



全学年 交通安全講習会

生徒指導部長

4月9日に1・3年生に、15日に2年生に生徒指導部による交通安全講習会を実施しました。今回の講習では、自分の命を守ることと自分が事故にあつて周囲の人たちに悲しい思いをさせないためにも自転車通学に関する安全の見直しをするように伝えました。

特に、芥川高校周辺の危険個所の説明や、道路交通法の改正について具体的に話をし、生徒たちも主体的に話を聞いてくれたように思います。今後も、生徒たちの10年後を見据えて、安全・安心な通学ができるよう取り組みを行っていきたいと思います。

春の自転車交通安全指導

生徒指導部長

5月11日(火)から14日(金)の間、自転車交通安全指導を行いました。教員全員の協力のもと、高槻市立第二中学校前から名神高速道路をくぐって本校に至る道や、緑が丘公園から本校に向かう道、浦堂認定こども園前の道路に教員が立つて自転車通学する生徒に声をかけました。交通安全の意識を高め、マナーを守り、地域の方にも愛される芥川生をめざしています。



芥川高校後援会にご協力ください

後援会は、会費・寄付金・募金を集め、芥川高校の生徒のために支援してくださっています。後援会の活動にご理解とご協力をよろしく願います。

